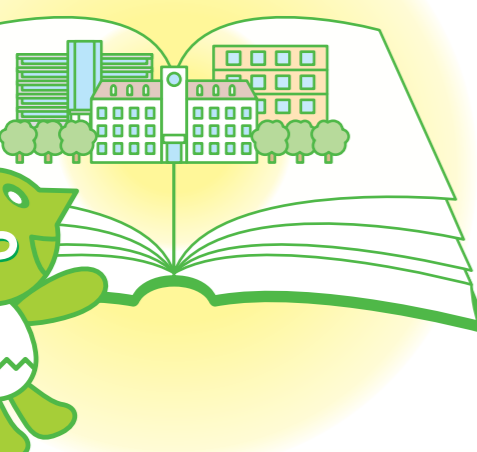


文部科学省 支援プログラム

テーマA 「大学教育推進プログラム」は、

大学等における学士力の確保や教育力向上のための取組を選定し、財政的なサポートや幅広い情報提供を行うことで、我が国の高等教育の質保証の強化に資することを目的としています。



保健医療の国際化に対応する 医学教育

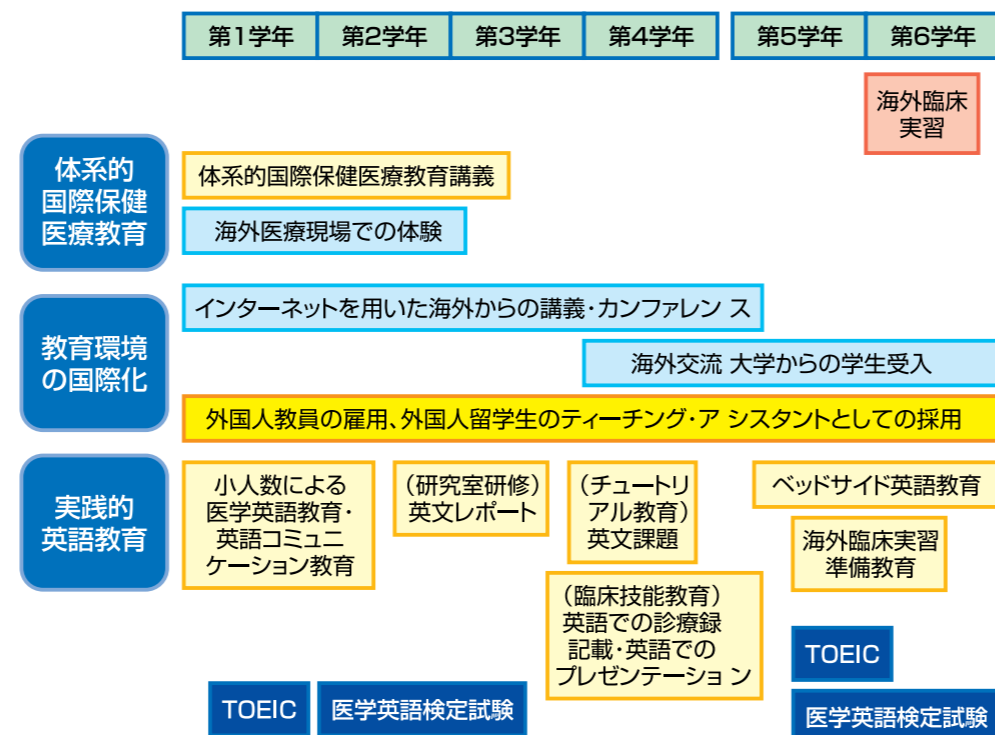
—教育環境の国際化と実践的語学教育を目指して—

大学教育・学生支援推進事業 テーマA「大学教育推進プログラム」

平成
21年度

医学部では、国際保健医療の現場で活躍する人材、国際感覚を持つ地域医療に貢献する人材を養成するため、体系的な国際通用性のある医学教育を導入し、既の連携により高い教育効果を達成することを目指しています。この海外体験実習、英語コミュニケーション教育、体系的国際保健医療外国人教員の採用などを計画しています。

◎ 取組の具体的内容 ◎



隣接学校園との連携を核とした 教育モデル

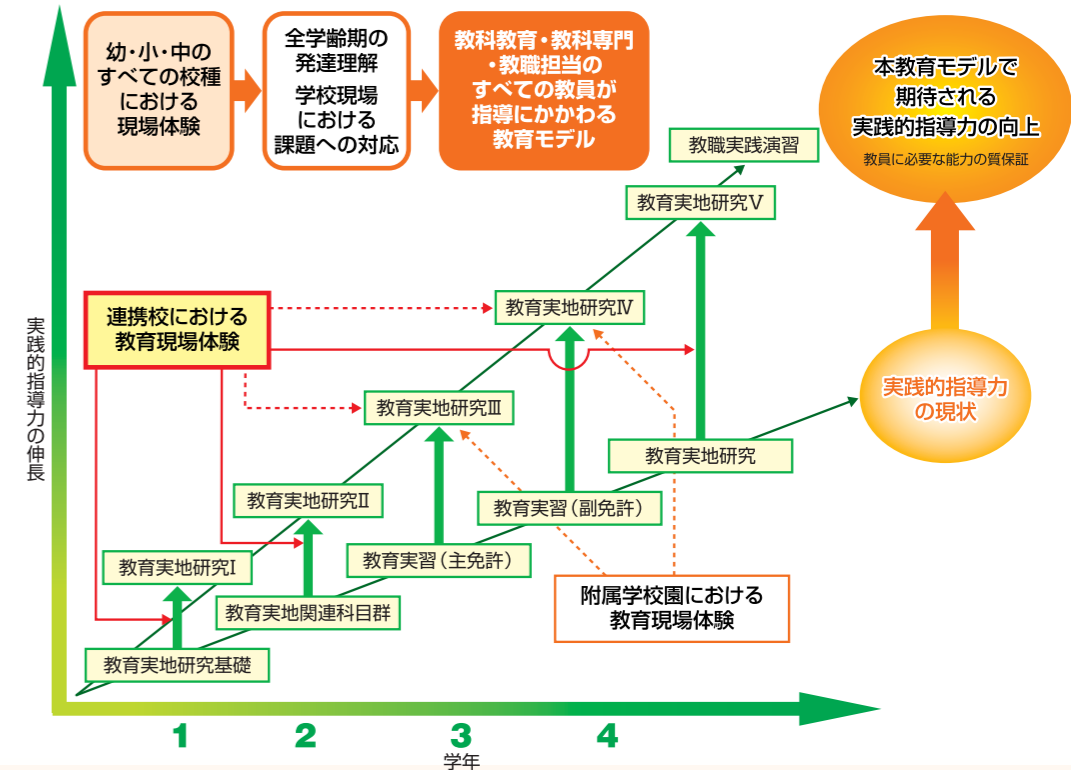
—多様な教育課題に対応できる教員養成を目指して—

大学教育・学生支援推進事業 テーマA「大学教育推進プログラム」

平成
21年度

教育学部では、実践的指導力を涵養する場として本学と隣接する一身田中学校区の学校園との連携を進めてきました。このプログラムでは、これまでの実績を基盤として、隣接するもう一つの学校区である橋北中学校区の学校園との連携へと拡大し、2つの中学校区(2中学校、6小学校、3幼稚園)および教育委員会との連携協力を深化させ、現場体験を核とした教員養成の教育モデルを構築しようとするものです。また、学校園における多様な教育課題への支援に参加しながら教員としての資質形成に結びつく体系的で幅広い学びを体験することによって、質の高い教員を養成することを目的としています。

◎ 教育実践プラン ◎



マザーホスピタル構想による 周産期医療再生

大学改革推進等補助金（周産期医療環境整備事業）

平成
21年度

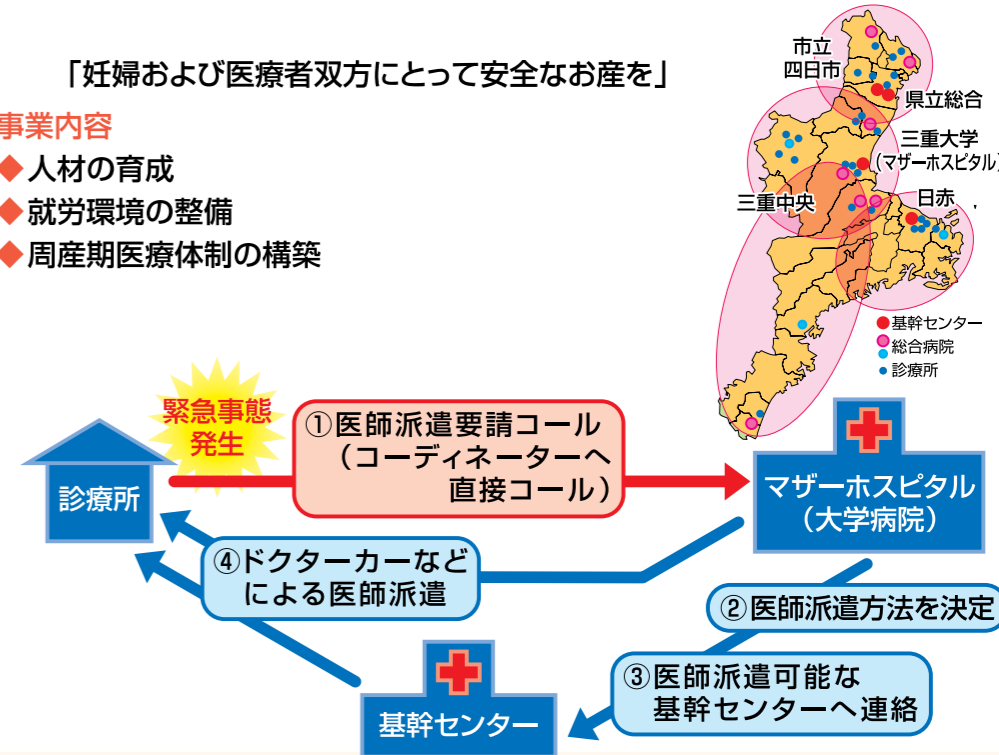
本学の附属病院が県下の周産期医療の核となり「魅力ある卒前・卒後研修プログラム」の実施とマザーホスピタル機能の強化により、全県的な周産期医療に関わる人材の確保・育成を行います。県下の周産期基幹センター等での卒前実習、専門科未定研修医に向け周産期医療関連科合同研修の提供、女性医師の就労環境整備・女性コーディネーターの配置などを今年度より5年間、毎年4000万円の補助を受けて実施展開し、疲弊する地域の周産期医療の再生と活性化を目指します。

◎ マザーホスピタル構想による周産期医療再生 ◎

「妊婦および医療者双方にとって安全なお産を」

事業内容

- ◆人材の育成
- ◆就労環境の整備
- ◆周産期医療体制の構築



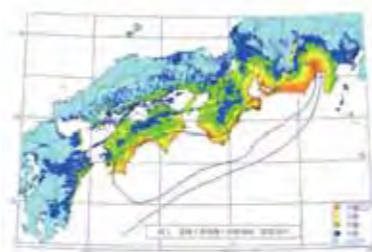
美し国おこし・三重さき もり塾

地域再生人材創出拠点の形成

平成
21年度

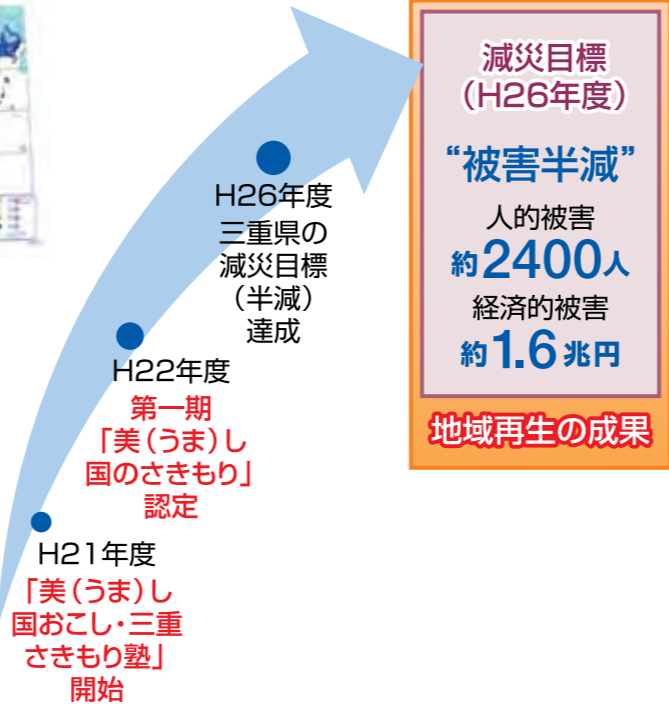
このプログラムは、本学と三重県が協働して自然災害のリスクが高い三重県地域において、防災・減災活動を行う人材「美し国・三重のさきもり」を年間約10人養成・軽減を目指すもので、今年度から5年間、毎年約5000万円の補助金の対象は行政・企業に所属する社会人、地域の防災活動に取り組む方々、本学の学生です。今年度発足した本学の「自然災害対策室」が中心となり、各研究科と協働の下、人材の養成を行います。

◎ 本事業による養成人材が目指す三重県の減災目標 ◎



東海・東南海・南海地震同時発生時の震度分布 (中央防災会議資料)

東海・東南海・南海地震同時発生時被害想定
人的被害 約4800人
経済的被害 約3兆円



注：「第2次三重地震対策アクションプログラム」(三重県、平成19年7月)に基づく。

「地域再生人材創出拠点の形成」プログラムは、

大学等と地元の自治体との連携により、科学技術を活用して地域に貢献する優秀な人材を輩出する「地域の知の拠点」を形成し、地方分散型の多様な人材を創出するシステムの構築を目的としています。

周産期医療環境整備事業 (人材養成環境整備) は、

平成20年度策定の『大学病院の周産期医療体制整備計画』を推進するため、次代を担う若手医師や女性医師への教育環境整備や支援体制の充実など、先駆的な事業を実施する大学病院の支援と人材養成機能を強化し、医師の過重労働の軽減や、地域の周産期医療体制の構築を目的としています。

